

議事録

会議の名称	第1回加東市総合教育会議
開催日時	平成27年5月25日(月)午後6時～午後7時32分
開催場所	加東市役所 3階 301会議室
<p>議長の氏名 (市長 安田正義)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>&lt;出席委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員長 大島 巧 男 ・教育委員長職務代行者 藤本 洋 二</li> <li>・教育委員 神崎 芳 美 ・教育委員 浅川 る り ・教育長 藤本 謙 造</li> </ul> <p>&lt;欠席委員&gt;</p> <p>なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副市長 吉田 秋 広</li> </ul> <p>&lt;協働部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働部長 芹生 修 一 ・企画協働課長 長谷川 茂</li> <li>・企画協働課副課長 前中 公 和 ・企画協働課主幹 平野 好 美</li> </ul> <p>&lt;教育委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育部長 堀内 千 稔 ・教育総務課長 大橋 博 英</li> <li>・教育総務課副課長 中西 互 ・教育総務課副課長 柴崎 俊 之</li> <li>・学校教育課長 登 光 広 ・生涯学習課長 黒崎 徳 弘</li> <li>・人権教育課長 広西 英 二 ・中央図書館長 大橋 正 明</li> </ul>	
<p>1 議 題</p> <p>(1)加東市総合教育会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加東市総合教育会議運営要綱(案)について</li> <li>・加東市総合教育会議傍聴要領(案)について</li> </ul> <p>(2)加東市教育大綱について</p> <p>(3)小中一貫教育アンケート結果等について</p> <p>2 会議資料</p> <p>(1)加東市総合教育会議運営要綱(案)</p> <p>(2)加東市総合教育会議傍聴要領(案)</p> <p>(3)加東市教育大綱について</p> <p>(4)加東市教育振興基本計画(平成23年3月策定)【概要版】</p> <p>(5)地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(概要)</p> <p>(6)これからの加東市の学校教育のあり方(小中一貫教育)に関するアンケート結果</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第1回加東市総合教育会議・会議の経過」のとおり</p>	

(別紙) 第1回加東市総合教育会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	<p><b>1 開 会</b></p> <p>皆様こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから第1回加東市総合教育会議を開催させていただきます。私、本日の司会進行を務めさせていただきます協働部企画協働課副課長の前中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>初めに、加東市長の安田正義が御挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p><b>2 市長挨拶</b></p> <p>皆様こんにちは。非常に暑くなってまいりました。新年度始まってはやもう1カ月、2カ月になろうとしております。5月も終盤に差しかかってきたという状況でございます。</p> <p>今、市ではこの3月に議会で新年度の予算を議決いただき、そして執行ということで進めておるところでございますが、この6月には市議会の定例会を招集させていただいたというふうなこともございます。6月2日が初日ということで、これから議会に提案をさせていただくという状況でございます。</p> <p>今日は、本年4月1日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行され、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しながら地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化など抜本的な改革に取り組むこととされたところでございます。そのための協議及び事務の調整の場として、地方公共団体の長と教育委員さん方をもって構成する総合教育会議を設置することが公共団体の長に義務づけされまして、本日第1回目の総合教育会議を開催する運びとなったところでございます。</p> <p>この開催につきましては、またこの後、この会議の運営要綱でありますとか傍聴要領、そういったことをまず定める必要があるわけでございますが、既に法律で会議の開催あるいは傍聴、そういったところについては一定の見解が示されたとおりでございまして、この後少し御説明を事務局のほうから申し上げます。</p> <p>私は、昨年4月30日に第2期目を就任させていただきました。その就任に当たりまして、「新しいステージ加東」「輝く加東」の実現を目指して、市民の安全・安心をまず最優先する。そして、2つ目には「まちの活力と賑わいづくりの推進」、そして3つ目に「教育環境の充実」、4つ目は「子育て支援と就労支援」、そして5つ目として「人権教育及び人権啓発の推進」、この5つを掲げ、まちづくりを推進していくとしたところでございます。そして、そのうちの「教育環境の充実」につきましては、少子化の進展や子供たちを取り巻く厳しい社会環境の中であって、未来ある子供たちが心身ともにたくましく成長できるように学力の向上や自尊感情の育成、生活指導の充実などに向けて最善の教育環境を提供していくことが使命であるといった強い思いから小中一貫教育を推進するというところを目指しておるところでございます。このことにつきましては3月の施政方針でも表明したと、そんな状況でございます。</p> <p>この総合教育会議が加東市の教育、学術及び文化の振興に関する協議や、教育委員会の権限に関する事務と私どもの権限に関する事務との調</p>

<p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>和、小中一貫教育をはじめさまざまな教育課題に対する意見交換の場として十分にその役割を果たしていかなければならない、そんな思いでおるところでございます。</p> <p>今この時期は二十四節気で小満という時期でございますが、万物盈満すれば草木、そして枝葉が繁る、次第に成長して一定の大きさに達してくるころという、そんな時期でございます。そしてまた6月には芒種、そんな時期を迎えるところでもございます。最近、この時期をもって種まきをするというような時期だったようでございますが、今はそういうことではなく、非常に時期が早まってきているという状況でございます。農家の皆さんも今準備に励んでおられるというところでございますが、何とぞ実りある会議になりますようお願い申し上げます。私からの開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は初めての会議になりますので、構成員の皆様から簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>市長から反時計回りにお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜委員自己紹介＞</p> <p>事務局</p> <p>ありがとうございました。次に、副市長の吉田でございます。</p> <p style="text-align: center;">＜自己紹介＞</p> <p>事務局</p> <p>続きまして、事務局を紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">＜事務局自己紹介＞</p>
<p>事務局</p> <p>教育総務課長 (大橋)</p> <p>事務局</p> <p>企画協働課長 (長谷川)</p> <p>事務局</p>	<p><b>3 加東市総合教育会議について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加東市総合教育会議運営要綱（案）について</li> <li>・加東市総合教育会議傍聴要領（案）について</li> </ul> <p>それでは、次第の3に移ります。</p> <p>加東市総合教育会議についてでございます。</p> <p>最初に、総合教育会議の設置につきまして事務局から説明をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜総合教育会議について説明＞</p> <p>事務局</p> <p>続きまして、加東市総合教育会議運営要綱（案）について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜総合教育会議運営要綱（案）について説明＞</p> <p>事務局</p> <p>説明が終わりました。</p>

	<p>ただいまの説明に対しまして何か御意見、御質問等ございませんでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
事務局	<p>特に御意見、御質問等がなければ、先ほど御説明させていただきました運営要綱に基づきまして本会を運営していくことでよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
事務局	<p>それでは、資料の運営要綱の（案）を削除いただきますとともに、末尾の施行日を本日の5月25日ということで御記入いただきたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、加東市総合教育会議傍聴要領（案）につきまして事務局から説明をお願いいたします。</p>
企画協働課長 （長谷川）	<p>&lt;総合教育会議傍聴要領（案）について説明&gt;</p>
事務局	<p>説明が終わりました。</p> <p>ただいまの説明に対しまして何か御意見、御質問等ございませんでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
事務局	<p>御質問、御意見等がないようでしたら、御承認いただけるということでよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、傍聴要領の（案）を削除いただきますとともに、末尾の施行日に先ほどと同じように5月25日ということで御記入いただきたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>それでは、協議のほうに入らせていただきたいと思います。</p> <p>先ほど御承認いただきました運営要綱第4条第3項の規定によりまして、会議の議長は市長をもって充てるとございます。この会議の進行につきましては、市長にお願いします。</p>
議長 （市長）	<p><b>4 協 議</b> <b>（1）加東市教育大綱について</b></p> <p>それでは、運営要綱によりまして私がこの会議の議長をさせていただきます。</p> <p>本日は、協議ということで2件お願いしたいと思います。1件目は加東市教育大綱について、そして2つ目には小中一貫教育アンケート結果等についてということで御説明を申し上げ、そしてまたいろいろと御協議をいただきたいと思います、こんなふうに思っております。</p> <p>傍聴要領が制定されたわけでございますが、本日、神戸新聞社のほうが傍聴にお越しになっておりますが、この会議を写真撮影したいということ</p>

<p>議長 (市長)</p> <p>教育総務課長 (大橋)</p> <p>議長 (市長)</p>	<p>であります。特に御異議等ございませんでしょうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>許可をいたしますので、最初の場面だけを撮っていただいて、後は会議に支障がないように御協力をお願いします。 それでは、これより協議に入ります。 まず、協議の第1番目、加東市教育大綱について、この件を議題といたします。 事務局のほうから説明をお願いします。</p> <p>&lt;教育大綱について説明&gt;</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>ただいま加東市の教育大綱についてということで、事務局のほうから説明を申し上げました。 ただいまの説明に対しまして御意見等がございましたらお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。 まず、平成27年度については、教育振興基本計画があるということは既に教育委員さん方も御承知のとおりでございます。平成28年度からの大綱策定をこの総合教育会議の中で協議をしていただくということでございます。平成27年度については既にスタートして、この教育振興基本計画に基づいてやっていくということを確認させていただきたいということと、それからあわせて小中一貫教育を私のほうは施政方針の中でお示ししておりますので、このことを一つこの中に加えさせていただきたいと、そんな思いでございます。 いかがでしょうか。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>この教育委員会制度の改正について、私は文部科学省の説明を聞いております。今おっしゃったとおりです。ただ、教育の中立性の確保、それから継続性の確保、安定性の確保がありました。その中でもう一つ新しい言葉が今回出ました。どういうことかということ、民意の反映。周囲の皆様方の意見、あるいは考え方を十分に教育の世界で反映させなさい、それが教育委員の仕事ではないかなというふうなことが新しくこの間文部科学省の説明の中で出ました。まだ加東市はその試行段階には至ってはいないけれども、私も含めて4人の教育委員がどういう立場でこれからも頑張ればいいのかということの答えが一つ出たのでしよう。というのは、我々現場のコントロール、レイマンとして教育についていろんな御意見や提案を申し上げたりする役目があります。その中で民意ということは市民の皆様方の意見をいろいろ取り入れたりお聞きしたりして、それを教育長も含め市長にも申し上げたり、そういう大きな役目があるという思いがいたしました。</p> <p>それと直接関係があるかどうかわかりませんが、先ほどの大綱の中の4番、活力ある教育環境づくり、小中一貫教育の推進とありますけれども、私ども教育委員も含めた教育委員会の考え方としては、今新しく準備室が生まれ、そこで小中一貫教育についていろいろ協議を願ったり、あるいは研究していただく組織を我々教育委員会としてはいいことですよねということでお認めしたけれども、まだ第1回の会議も開かれておりません。で</p>

	<p>すから、その会議の中でどういう御意見が出る、あるいはどういう研究がなされるかというふうなことも参考にしながら、我々教育委員の立場はその研究結果や協議結果を参考にさせていただき段階でございますので、教育委員として、あるいは教育委員会として小中一貫教育を即進めなさいという状況ではないということは、市長、これは御理解いただきたいと思えます。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>委員長さんからのお話の中で、民意の反映ということについては今回の大綱の策定が私のほうに義務づけされたということでございますので、そこが一つの民意の反映ということになってこようかと思えます。ただ、私のほうだけが進めるということではなく、委員さん方と調整をしながら、その中に組み入れていくべきというふうに今捉えております。</p> <p>それから、小中一貫教育のことでございますが、研究会が立ち上げられ、今おっしゃったように、まさにまだ1回目も開催されていないという状況であるということは十分に私のほうは認識しております。ただ、私のほうは一応、先ほど申し上げました施政方針の中で未来ある子供たちのためにやはり何が必要なかと考えたときに、一つの方向としてやはり小中一貫教育を推進するという思いの中で協議させていただきたいという思いだけは今日この場でお伝えをさせていただきたいと思えます。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>今市長がおっしゃったように、市長のお考えは十分私自身は理解しています。多分教育委員も市長のお考えを十分にわかった上で、もう少し研究していただいたり、検討していただいたりするのを大事に考えましょうというのが我々教育委員の考えです。そういうふうに御理解いただけたらと思えます。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>いかがでしょう。余りかた苦しくならないように御助言いただいたら。</p>
<p>委員</p>	<p>今委員長がおっしゃったように、大きい1から3までは確かに加東市教育振興基本計画の内容をそのまま書いていただいたというふうに理解しているんですけど、ただ4番だけは先ほど委員長がおっしゃったように、まだ教育委員会としては小中一貫教育を推進するということまでには行っていない。これは今委員長がおっしゃったとおりです。従いまして、市長がどうしても思いとして入れたいということをお我々は絶対だめだと言えるような総合教育会議ではないのかなと思えますけれども、今の教育委員が置かれている状況はこうだということだけは認識してほしいというふうに思えますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>4番に書いてある小学校から中学校への接続を円滑化し、という文言は、市長さんがみずからお考えになって、これのために小中一貫をしたいと思われたのでしょうか。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>この件については、私の考えもちろんありますけれども、これは昨年来ずっと教育長と私と色々な調整をしてきております。9年間を通してというところを一番我々としては具体的にしたいという思いの中でこういう表現にさせていただいたというところでございます。是非御理解を賜れ</p>

<p>教育長 (藤本)</p>	<p>ればと思います。</p>
<p>教育長 (藤本)</p>	<p>まず、教育委員会として、もう少し研究会等を立ち上げて協議を深めていかないといけないというような中で研究会を立ち上げるということで皆さん一致したというふうに思います。これは、加東市の小中一貫教育についての方向性等々を含めてですが、研究、検討してもらいたいというのが全体の方向性としてあると。もちろんそれと同時に民意という話がありましたけれども、多くの方々の理解を得るということは必要最低限の問題だろうというふうにも考えておりますし、理解を得るための努力も今後我々としてはやっていかないといけないのではないかとということも重ねて両方あるということは御理解をいただきたいなと思っています。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>今、小中一貫教育についていろいろ私も申し上げましたし、教育長も御意見を言われましたけれど、小中一貫教育と今市が抱えておられる一番大きな問題として公共施設の適正配置とが一緒になって考えられている部分があるのではないかなという思いもいたします。やはり小中一貫教育というのは別問題。というのは、適正配置の中で今冒頭の教育長の提案の中では、コスミックホールの場所にしたらどうだという提案をしていただきました。でも、必ずしもあの場所に小中一貫校をつくるというふうなことではなかったのではないかなという思いもあります。だから、小中一貫教育を推進するということと適正配置というものはある程度離して考えるべきではないかと思うんです。</p> <p>私自身の考えです、教育委員長ではなく個人の考えとしては、小中一貫教育は絶対に進めるべきだと思っています。この間文部科学省のいろんな意見を聞きますと、どうやら22日から国会のほうで議論が始まっているということもお聞きしました。国の趨勢として、あるいは都道府県、それから市等の動きについても小中一貫教育を推し進めるという方向に動いております。加東市が遅れをとってはいけないという考えも私自身は持っています。ただ、そこで小中一貫教育を進めるべきだと私個人は思うけれども、適正配置の問題の中でももう少し議論する余地があるのではないかなというのが大島の考えでございます。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>別問題という表現をされたのですが、最終的にやはり全てが公共施設でございますので、結果として小中一貫教育、小中一貫校といったものが整備されると当然いろんな公共施設に影響してくることだというふうに捉えております。したがって、別問題という捉え方は私のほうはなかなかしづらい部分があるというのが本音のところでございます。このあたりが、恐らくこの会議の中でも非常に複雑な部分であろうというふうに思っておりますけれども、全てを切り離して考えるというのはなかなか私のほうとしては、やはり将来を見越した中で、財政的なことも含めまして、これは大事であっていろんなことがなし遂げられるということもございまして、そこのところは私の立場としますと今委員さん方には御理解をお願いしたいなということもございまして。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>当初の教育長が出された案では、東条地域は一体型をやろうと、それからほかの地域については併設型をやろうじゃないかという提案がなされました。果たして東条地域で一体型にする必要があるのか。今確かに東条中学校は非常に危険な状況にあります。建て直す場所を求めないといけない</p>

<p>議長 (市長)</p>	<p>という状況があることも事実です。一体型ですのではなく分離型ですのも一つの方法ではないかなと、いろんな考えも頭をよぎるのですけれども、そういうふうに考えるならば現在の東条中学校をここにしたら、安全な場所で安心して中学生がそこで学習できるのではないかなという考えが一つと、併設型であるならばもう少し研究の余地もあるのではないかなという考えもあることも事実でございます。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>今この時期になりまして、1月、2月の段階からそういう話はずっと出ておるんですけども、こういう話をしますと、また戻ってしまうんですけど、個々の確かにそういう部分も大事にしなければいけない部分があるのですが、加東市の教育大綱として小中一貫教育の推進を図るとい、そのところは、教育委員会の中で小中一貫教育、小中一貫校に全て今賛同しておるといわけではないといところは、十分今御説明いただきましたけれども、私のほうは先ほど申し上げたようにそういう推進を図っていくという中でこれから研究会も立ち上げていろいろと議論もしてもらおうという状況でございますので、今この場で東条のそのことだけを捉まえてこういう議論をするのもいかがなものかという思いもします。</p> <p>委員さん方の発言では、その分だけは理解をしてよろしいということをおっしゃったので、その点は確かに承っております。したがって、そういうことも承りながら、教育振興基本計画を中心にしながらそこに小中一貫教育の推進を図っていくということを加えさせていただいて、進めさせていただくということはいかがでしょうか。そして、28年度については、今からきちんとこの場で協議をさせていただくという、そんな方向を今考えておるのですが、よろしいでしょうか。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>私は異議ありません。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど来説明されている内容では、1から3までは特段議論となるころは何もないんですけど、4番については先ほども言いましたように6月に研究会を立ち上げて今後研究、検討をしていただくということになって、研究会の最適な案が出てくれば、それをもって教育委員会で議論しましょうという位置づけのことだけは教育委員会で決まっておりますので、今日の会議の中で小中一貫教育の推進にオーケーを出せと言われても、ちょっと今は返事ができる状況にはないと。それが先ほど来説明している意味合いでありますので、市長の思いとしては重々理解しておりますけれども、教育委員会の委員としては今これを加えたから一緒になって推進と言われても難しい。やはり研究会の検討結果が出て、それをもってここにいる5人の委員でその結果を真摯に捉えて協議するまではちょっと時間をいただけないかなという思いを持っております。</p>
<p>委員</p>	<p>ちょっと例えが全く違うんですけど、随分、大阪都構想の話がありまして、結局住民投票では反対のほうが多かったということでもなくなったわけですが、そのときに市の方針としてはやはり橋下市長さんが大阪都構想というのをずっとと言われて、書類で文言は残していたのでしょうかね。そんなことはわからないですかね。一旦書類にしようというふうになっても、やはり住民投票でなくなってしまうということもあるということから考え</p>



	<p>ると、私としては市長さんの意見を今回は載せてもいいのではないかなと。それで全部市長さんの意見が通るとは限らないかなと思ったので、それは載せてもいいかなと私は思います。</p>
<p>委員</p>	<p>難しいですけれども、やはり今はまだ推進というところまではいっていないと思います。研究についてはこれから始まることですし、研究すること、小中学校が連携して教育を行ってやっていくということはとても大事なことなので、小中一貫教育とともに研究していくというのはこれからのためにも大切なことだとは思いますが、まだ推進という段階までにはいってないと思うので、27年度には入れなくてもいいのではないかなという少し気持ちもあります。今年度いろいろ研究して行って、そこで何らかの方針が出てきてから入れてもいいのではないかなというふうにも考えます。市長さんが言われることもよくわかりますが、ちょっと難しいところがあると思います。</p>
<p>教育長 (藤本)</p>	<p>この4番の文言のところですけども、読んでみますと、小学校から中学校への接続を円滑化し、小学校と中学校の教職員が子供たちの育ちと学びの連続性、適時性を考えることで差を埋め、人間関係や学力向上につなげていくため、小中一貫教育について研究し、その推進を図りますという表現になっているんですね。研究するというのと、それから推進するというのが重なっているわけですけど、この辺の文言をどうするかというのが今の話じゃないかなと思うんですけど、小中一貫校は今計画案があって、そのとおりにやるとかやらないとかということが今はっきりしていないというふうな話なんですけど、小中一貫教育については研究して、研究を進めるということについては何ら問題はないというふうには思うんです。ですから、ありきというか、そういうところには至ってないというようなところの意見を、ここだったら一步、委員さんがおっしゃったように、市長として、私もそうですけども小中一貫校を推進したいという思いを盛り込むかどうかという、その一点になるかなというふうには思います。</p>
<p>教育委員 長 (大島)</p>	<p>文部科学省の説明を私聞いてまいりましたけれども、不登校児童の生徒が急に増えるのが小学校6年生から中学校1年生です。全国的な平均として3倍以上になっています。それから、学校でいろいろ学習したり運動したり生活するのが楽しいかどうかの質問をしたところ、小学校と中学校では大幅に減っています。それから、授業がよくわかりますかという質問に対して、残念ながら小6と中1では12ポイント下がっています。ということは、中学校になってから急にわかりにくいというふうに答えている子供が多いということでもあります。</p> <p>そういうことから考えて、私はいつも思っているけれども、小学校の先生と中学校の先生をうまくミックスすれば、中学校の先生が現在は小学校の子供たちを指導することはないけれども、小中一貫になれば中学校の先生が小学校の子供にも、あるいは小学校の先生が中学校の子供にも指導できるという体制は非常に大事なことじゃないかと思えます。</p> <p>先日、我々教育委員は京都へ視察に行っていました。その京都の学校の校長が一生懸命力説なさるのが、やはりこの形にすれば指導体制、それから児童・生徒の様子が一変しましたと。それまでは小学校3校、中学校1校だったけれども、同じ一貫教育で一つの場所で生活させると子供たちの生活態度が大きく変わりましたということをお説明いただきました。</p>

<p>議長 (市長)</p>	<p>実際に教室をずっと回らせていただいたら、本当にすごいなと思うぐらい子供たちが楽しそうに一生懸命学習しておりました。小中一貫教育の成果だろうと思うんですね。ですから、確かに成果はあると私は感じています。</p> <p>私のほうから申し上げますと、推進という文言がどうかという、そのところが今こだわりの部分だと思うんですが、先ほど来申し上げておりますように平成27年度の施政方針という部分の中で、私は加東市長として小中一貫教育を推進するということを既に表明しておる状況が一方でございますので、それからしますと私はここで推進という文言を外してはなかなか、私の政治姿勢としてこれはやっぱりできないという部分がございます。したがって、研究も一方で進めてもらう、そういう中でいろんな理解を深めてもらうというところを大事にしたいなという思いは持っておりますので、委員さん方と全て同じ方向を向いてやりたいし、その思いでいるけれども、そういう部分になりますと非常にいろんなそれぞれの思いがございます。しかしながら、私の立場として教育大綱を策定するということになりますと、このところは私としてはやはり是非皆様方の御理解をいただかなければならないものだというふうに思っております。何とぞ御理解いただきたいと思います。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>市長がおっしゃったとおりだと思うんですね。市長のお考えは十分に我々、前から理解しておりましたけど、今の市長のお考えを吐露していただいて、市長もそういうふうにお考えになっているということ、それから教育長のお考えもそういう方向で、今後の加東の子供たちを見据えたときに小中一貫教育を推進することが子供たちにとって、今生まれたばかりの子供、それから今3歳、4歳の子供が成長していく中でこの小中一貫教育を進めることが将来の加東の教育を十分に意味あるものにするというふうに考えた場合には、確かに市長のおっしゃるとおりだと私は思います。ただ、先ほどから言っているように教育委員会は今その段階であるということは、市長、御理解いただきたい。市長の思いは十分に私は理解させていただいております。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>これはなかなかそれぞれ皆さんの思い等があるわけで、こっちを向いてくれというわけにはなかなかいかないと思いますので、平成27年度はまず研究会を立ち上げますので、そのところを大事にしながらということで御理解をいただけませんか。よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>市長が今お話しされた思いでこういうふうに書かれているというのは、今委員長がおっしゃったように重々皆さんも理解なさっていますし、私もわかっているつもりです。ただ、先ほど来繰り返しになりますけれども、教育委員としてはこれから研究会を立ち上げて、研究会の結果を見て教育委員会として判断するというものですから、今推進という言葉にこだわるならばこれ全て100%賛同しているというふうに理解されると、今はその部分はお答えできない。だから、この部分は市長の思いとしてこういうふうに書かれるということに関して私がどうこういうことは言えないと思いますけれども、委員としては研究会の結果が出て、それをもって教育委員会で協議して、その結果を出すまでは今この推進に賛同せよと言われてもちょっと難しいと思います。すみません。</p>

<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>基本的に私も同じ教育委員として申し上げていいですか。 委員は推進という言葉にこだわったような言い方をしていますけれども、確かに私は市長の思いとして推進という言葉は大事にしなければいけないと思うけれども、もう少し議論を待って、あるいは研究会の様子を見させていただく時間が欲しいというのが正直な教育委員としての考えでございますので、市長の思いは十分に理解しているというふうに考えますので、ほかの教育委員どうですか。</p>
<p>委員</p>	<p>私もさっき言ったとおりです。市長さんの言われることもよくわかりますけれども、小中が連携するということは本当に子供たちにとっても教職員全体にとっても大切なことだと思うので、それを研究したりいろいろ考え、小中一貫教育というものを進めていくということは大切なことだと思うので、そこは賛同しているんですけども、何かこの中に小中一貫校というのが入ってきているのがどうなのかというのがちょっとまたわからないところで、その辺でちょっと私ももう一つ納得できないところがあります。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>総合教育会議の中で、賛否を問う問題ではないというふうになっています。だから、市長の思いを今吐露していただき、今後私ども教育委員と一緒に加東の教育をよくしようという考えは一致しているわけですから、市長が最後におっしゃった、総合教育会議での教育大綱の中で私はこういうふうに考えますとおっしゃったわけですから、それについて私は賛同します。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>こちらから何とかというものでもないですし、押しつけるものでもないですし、また皆さん方の意見を聞いて、もちろん意見は聞かないといけない、でも私の思いとしてこれをお伝えさせていただいておりますので、いろんな思いはおありだということで先ほど来ずっと私も聞いておりますので、そのことは十分に認識させていただいておるという思いで、今年度はそのことを項目として1項目入れさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。 一方で、平成28年度に向けて教育総合会議の中できっちりと捉えていきたいというふうに思っておりますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。 それでは、協議の1番につきましては以上にさせていただいて、次に協議の2番、小中一貫教育アンケート結果等について議題にさせていただきます。 事務局のほうから説明を願ひます。</p>
<p>教育総務課副課長 (柴崎)</p>	<p>&lt;小中一貫教育アンケート結果等について説明&gt;</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>小中一貫教育に関するアンケート結果ということで事務局のほうから説明を申し上げました。いろんな結果が出ておるのですが、いかがでしょう</p>

委員	<p>か。何かお気づきの点とか、あと御質問等があればお聞きしたいと思いません。</p> <p>39ページの最後のほうになるのですが、私もこのアンケート結果を知ってちょっと思ったのは、東条地域の方が同時期にというのはやはり何で東条地域が早いのだろうと思われているところがあるのかなと思ったんですね。ですから、東条の方にすれば社と一緒に、もしくは滝野と一緒に、2校を同時に進めてくれたほうがいいのではないかなという結果だと思うのですが、市長さんは少しばかりずらすというのはどうしてそうお考えになったのでしょうか。</p>
議長 (市長)	<p>適正配置計画の中で、まず東条地域の小中一貫校を最初に平成33年開校を目指してということをやってきました。その後、社、滝野という状況で我々として計画案をつくった。それはなぜかといいますと、同時というのはなかなか財政的にいかないというのが一番大きいところがあります。一番最初に東条ということ考えたのは、東条中学の現状がどうなのかという思いがございました。それから滝野地域はいわゆる児童・生徒の減少の度合いというのが少しほかに比べれば低いということも一方であった。そんなことから、総合的な判断の中でやはりこの順序ですべきだろうと。平成33年というのは、一つは財政的なことなのですが、合併市に対する特例措置、合併特例債というものの活用期限が平成32年度ということになりますので、32年、33年までに1つは何とか実現したいという強い思いがあった。全体と言うならば、一度にはなかなかやはりマンパワーも当然必要になってきます。やはり順序を追ってすべきという思いの中で順次やっていくという選択をしたというところですよ。</p> <p>ほかの委員さん、いかがですか、この結果について何かお感じになったようなことがあれば。</p>
委員	<p>このアンケート結果を見せていただくと、内容からいえば、設問の意味を全部の回答者がわかっていたかどうかという問題点はあるかもわかりませんが、この結果だけを見ますと今後の教育環境については現状維持が最も多い。だから、今のままがいいというふうに答えられている方が多いのではないかと思います。</p> <p>それと、小中一貫教育の実施についてはそう思うとおっしゃっている方もありますけれども、実際的にはわからないという方が多いです。それと、計画の進め方についても、わからない、あるいはやるとしたら同時期という答えが最も多いというように思います。</p> <p>小学校の保護者の方に数名だけですけれども、アンケートが回ってきましたかというふうにお聞きしましたら、回ってきましたけど実態がわからないので全てわからないで答えましたという方がいらっしゃいました。</p> <p>それともう一点だけ、前段の議題のときに委員長が京都市の例をお話しになりましたけれども、京都市も70ほどの中学校区があって、小中一貫教育を進めるというのは決めておられると思いますけれども、そのうち一休型というのは4校、併設型が2校、それ以外は全部、今の現状のままの連携型という形です。アンケートから見ると、わからないけどやるとしたらどういう時期という答えの中には校舎を一度に全部一体化しなさいという意味合いが入っているのではなく、今のままの小中一貫教育を進めるのであれば可能でないかなというふうな思いの中で同時期という答えが出</p>

<p>教育長 (藤本)</p>	<p>ているのでないかなというふうに理解をいたしました。</p>
<p>教育長 (藤本)</p>	<p>このアンケート結果からのきっちりとした分析というのは非常に難しいというふうに思うのですが、はっきりしたのは中学校の保護者、小学校の保護者、それから幼稚園の保護者、数値は違いますけれども今後非常に子供が減っていくことに関して不安度というのが、やはり幼稚園の保護者になるほど高くなっているということも一方ではあるということがはっきりしました。やはり現状を見たときにそういうふうな思いを持っておられる方もいるんだらうということ、それから小中一貫教育について、有効性等々についてもそうなんですけれども、やはりわからないとおっしゃっているのが多分普通かなど。失礼な言い方かも知れないけど、本当のことかなというように思っていますので、今後は研究会等の話もしましたけれども、これを進めていく中でより多くの方々にこういうものですよという理解をしていただけるような動きは今後やっていきたいという思いであります。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>いろんな見方があると思うのですが、例えば教科担任制については皆さん非常にやっぱり効果があると思われているという一つ大きな特徴がはっきりと出ているのですが、このあたり、今の状態で教科担任制というのはどうなのですか。</p>
<p>教育長 (藤本)</p>	<p>質問のところでも出しておりますけれども、今、社小学校と滝野東小学校では理科の先生につきましては中学校の専科ということでお願いをしています。これはクラス等との関係もありまして、専科として成り立つというのは中学校の先生が理科を教える場合に何時間ぐらいその学校で教えることが可能なのかということも考えて一応配置をしますので、その場合、加東市内におきましたら社小と滝野東小しか今のところ理科等で中学校の先生をお願いすることはできないということになっています。分離型で小中一貫教育をやる中で教科担任制度を充実していこうということになりますと、分離型というのは小学校と中学校との距離がございますので、先生のほうが移動しなければいけないというふうな時間的な非常に大きな問題が出てくるだろうと。一体型あるいは併設型であれば、隣接しておりますので時間的なロスもなくいけるのではないかなというふうなことは考えています。ですから、教科担任制をさらに小・中学校の先生と一緒にやっぺいこうとするならば、分離型ではなくて併設あるいは一体型が無理なくできる部分ではないかなというようにことを考えておるわけです。ですから、充実を図ろうとすれば今申したように併設、一体型ということになるだろうと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの京都市の例と、兵庫県でいえば神戸市ですけども、御存じのとおり政令指定都市であり、教職員が全部市の職員ですから、対応しようと思えば、何人でもというわけにはいけないと思いますけど一応市の権限でできるということがありますので、政令指定都市以外の市と指定都市の市とは、ハード面はちょっと別にしていただいて、人事とかそういった面に関してはちょっと状況が違うのではないかと。事実、京都市の場合は特別に小中一貫教育の先生を1人ずつ置いているというふうなことがホームページを見ておりましたら書いてありました。</p>

委員	<p>アンケート結果を見て、委員さんが言われたようにやはりわからないと答える方がすごく多い。説明会もされているようにお聞きするのですが、実際この小中一貫校になったときにお世話になる子供さんというのはもっと小さいお子さんですけど、一番その方にわかっていただきたいと思うのですが、それをどうやって説明していくかというのが大事なかなと思いました。</p>
議長 (市長)	<p>結局はわからないというのは確かにそうだと思います。そうなりますと、やはり我々がといいますか、誰かがそういうものをきっちりと整理をして、こういうものなんですよということをやはり説明していかなければいけないのではないかなという思いがしております。</p> <p>今回研究会を立ち上げるのですが、それと並行して地域、小学校区ごとの研究といいますか、私はできれば推進のためのそういう協議の場があれば非常にいいのではないかなという思いが実はしておるところでございます。大きな範囲の中である場合と、もう少し小さくして個々の校区といいますか、そういう中でいろいろと御議論を深めてもらうということが大事ではないのかなという思いがしておりますので、また研究会のほうでもそういうことをしてもらうことも必要ではないのかなと思います。</p>
教育長 (藤本)	<p>今市長がおっしゃった校区、地域ごとというところでの小中一貫教育について考えていくということにつきましては、小中一貫教育研究会が今後スタートして、少しずつれるかもしれませんが、やはり細やかに各地域等々で意見をお聞きするということが必要であろうということで、そういう組織も立ち上げていかないといけないということは教育委員会のほうでも相談をしていますし、その方向でいくということになっています。</p>
議長 (市長)	<p>アンケートに一つの結果として出ていますけれども、いろんな見方が確かにあると思いますけれども、このアンケート結果を踏まえてそういう研究会の中でいろいろと議論を深めていただくということをお願いをしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
議長 (市長)	<p>2件の協議ということで今日初めてこのような形で総合教育会議を開催させていただきました。大綱については、まだまだお互いの委員さん方が言われていることもありますし、私どももぜひこれはということもありますので、なかなかこれはすっきりとしてはおりませんが、アンケート結果についてもいろんな見方があると思いますけれども、また次回このような形できちっと議論の場を設けて、子供たちのためにということでお互いに頑張っていきたいというふうに思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上で私のほうの協議のほうは終わりますが、その他ということで何かありますか。</p>
事務局	<p>委員さんのほうで何かあれば。</p> <p><b>5 その他</b></p>
議長	<p>その他ということで、例えばこの会議のことや、あるいは日常的な教育</p>

<p>(市長)</p> <p>教育委員長 (大島)</p> <p>議長 (市長)</p> <p>議長 (市長)</p> <p>企画協働課長 (長谷川)</p>	<p>行政の部分で御意見等はないでしょうか。</p> <p>結局今日は小中一貫教育についてという部分でそれぞれの意見を述べさせていただきましたけれども、決して市長の思いを無視したり、あるいは市長の思いを我々教育委員は反対だというふうな形ではございません。もう少し考える時間をくださいというのが我々教育委員の考え方ですので、個人的には推進したいという考えを持っている者もいれば、もう少し慎重にというふうな考えを持っている教育委員もおりますので、その辺についても教育委員会、教育長の考えも含めて、私どもは今後とも十分に研究してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ほかは特にございませんか。よろしいでしょうか。 [「なし」と呼ぶ者あり]</p> <p>それでは、その他の部分についてこれで終わらせていただきます。あと事務局のほうで何かあれば。</p> <p>次回の開催予定についてですが、通常ですと教育行政の予算というのがありますが、来年度の分になりますと9月とか秋ごろの開催を目安にしているのですが、小中一貫教育についての研究会も立ち上がるということでございますので、そういうふうな協議も踏まえて、総合教育会議については開催していきたいと思っておりますので、できれば秋というよりももうちょっと早い段階で小中一貫教育研究会の状況も踏まえて開催したいと思っておりますので、そのときにおきましてはまた日程調整をさせていただきますので、よろしく願いをしたいと思っております。事務局からは以上です。</p>
<p>事務局</p> <p>議長 (市長)</p>	<p><b>6 閉 会</b></p> <p>本日の議題も終わりましたので、以上をもちまして第1回加東市総合教育会議を閉会とさせていただきます。慎重に御協議いただきまして、まことにありがとうございました。気をつけてお帰りください。</p> <p>委員の皆さん、学校訪問に続いて御苦勞でございました。お疲れだったと思っておりますけれども、ありがとうございました。また今後ともよろしく願います。</p> <p>午後7時32分 閉会</p>